DAIWA

DV1

ALL IN ONE FISHING TACKLE

取扱説明書

この度はDV1をお買い上げいただきましてありがとうございます。この商品を正しくご使用していただくために、ご使用になる前によくお読みください。なお、後日必要な時のためにお読みになった後は、大切に保管ください。

使用上のご注意

⚠危険 ⚠警告 ⚠注意

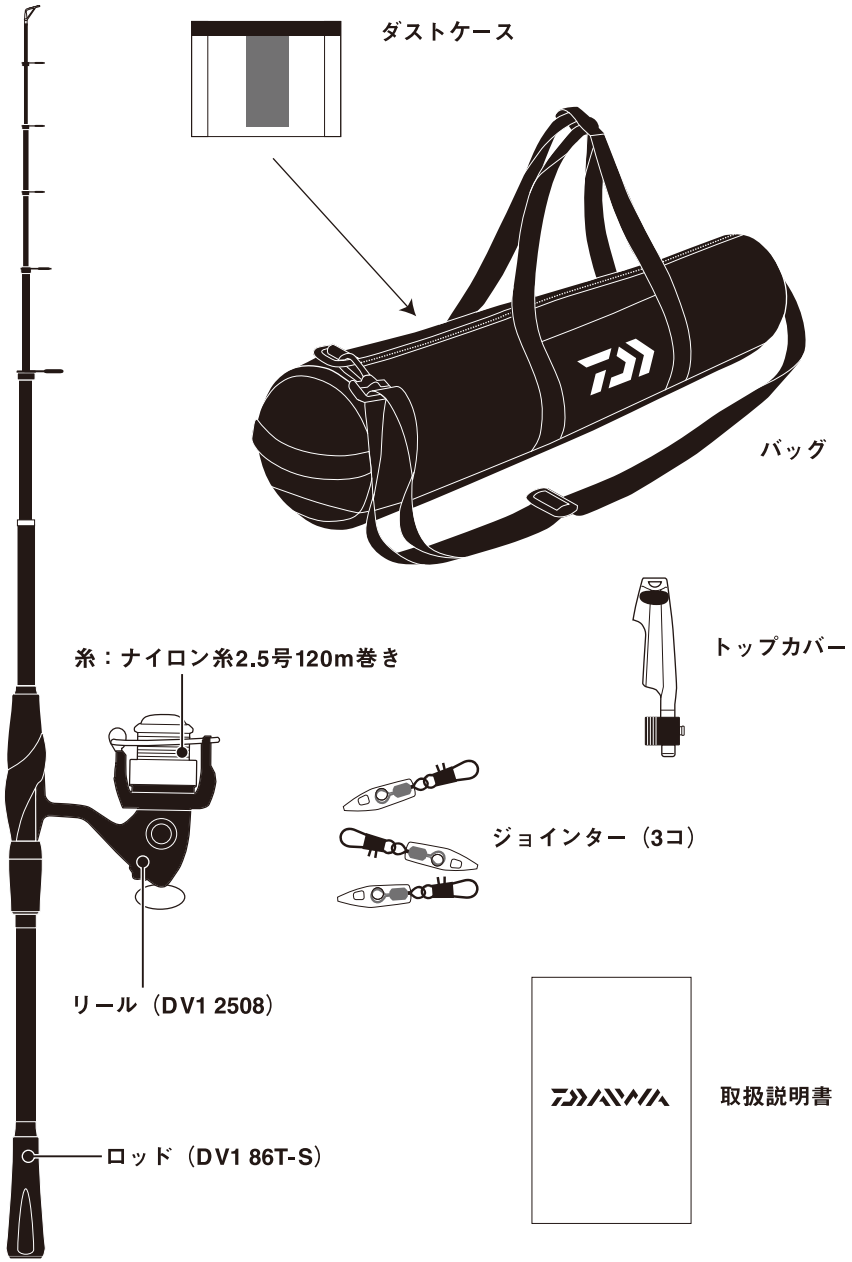
＊この表示がある欄では、誤った使い方をすると「死亡または重傷」「傷害または物損」が発生する可能性があります。

目　次

■梱包品の確認	P.1
■各部の名称と仕様	P.2
■リールの操作方法	P.3 ～ P.4
■釣りの始め方（タックルセッティング）	P.5 ～ P.7
■ジョインターの結び方	P.8
■タックルの操作方法	P.9
■タックルの収納方法	P.10
■バッグへの収納方法	P.11
■安全上のご注意	P.12 ～ P.13
■使用上のご注意	P.14 ～ P.15
■タックルのお手入れ	P.16
■アフターサービスについて	P.17

梱包品の確認

梱包品

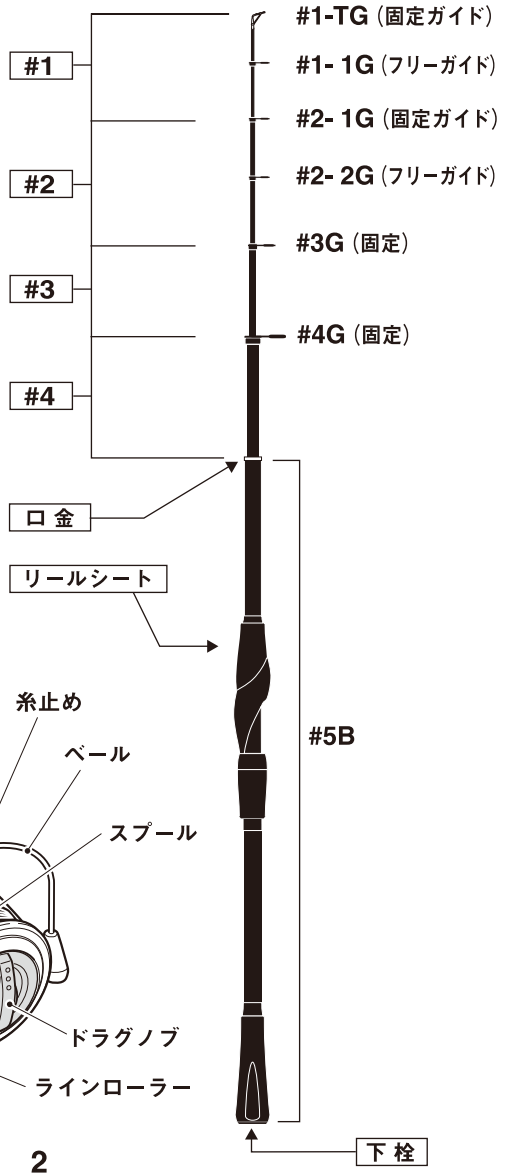


各部の名称と仕様

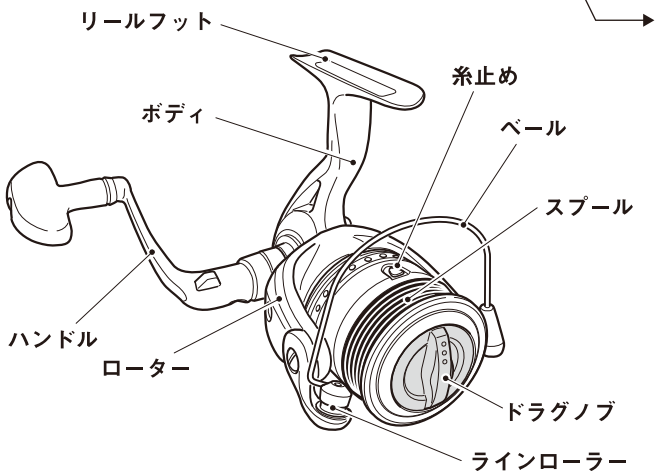
ロッド

■イラストは、DV1（5本継ぎ、6点ガイド仕様）で説明されております。
■ガイド・リールシート・トップカバー・口金・下栓等のパーツ類は製品によって構造・仕様・数量が異なります。
■修理及び部品請求の際にはこの名称をお使いください。

TG =トップガイド
G=ガイド
＃1 = 1番節（＃1節）
＃2 = 2番節（＃2節）
＃3 = 3番節（＃3節）
＃4 = 4番節（＃4節）
＃5B = 元竿



リール

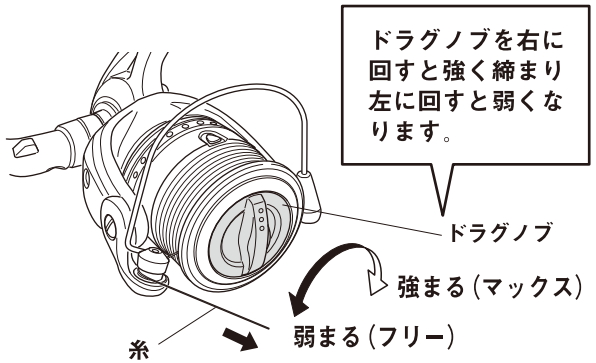


リールの操作方法

■ドラグの調整

スプールが逆転する強さを調節することで、魚の引きによる糸切れを防いだり、糸の長さを調節します。
ドラグノブを左右に回すことによって糸を引き出す強さを調節することができます。

DV1のドラグは通常のドラグより調整幅を狭く設定しております。ドラグはフリーとマックスの2パターンの設定があります。およそ1回転でフリー→マックスの調整が可能です。



※**フリー**とは、軽く糸が出ていく状態です。
※**マックス**とは、糸を4kg以上の力で引っ張ると糸が出る状態です。

用途		
弱まる（フリー）	・ロッドを置いて魚のアタリを待つ場合 ・リールを長時間保管する場合	・巻き込み過ぎた糸を引き出す場合 ・タックルセッティング時
強まる（マックス）	・キャスティングする（投げる）場合	・ハンドルを巻き始める場合

⚠ 注意・警告

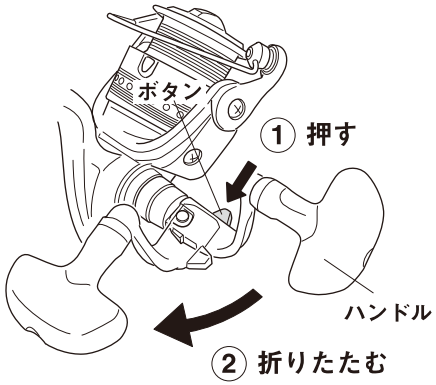
キャスティングする（投げる）際には、ドラグの設定が緩んでいると糸で指を傷つける恐れがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。

■ハンドルのたたみ方

ボタンを押すとハンドルを折りたたむことができます。
バッグに収納時は必ずハンドルを折りたたんでください。

⚠ 警告

ハンドルを折りたたんだ状態でハンドルを回さないでください。回転するローターに手が当たり、けがをする恐れがあります。

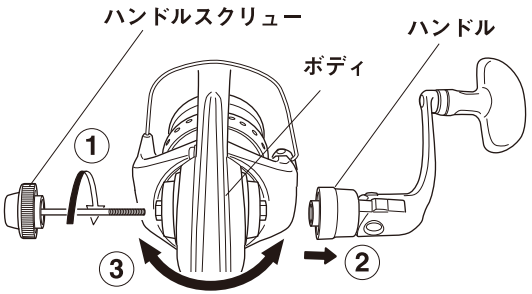


リールの操作方法

■ハンドル左右切換方法

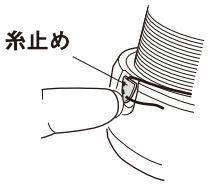
〈ハンドルを左巻きにする場合〉

① ハンドルスクリューを左(逆時計方向)に回し外します。
※ハンドルスクリューの裏側にワッシャー等の部品が入っています。
② ハンドルを抜き取ります。
③ ハンドルとハンドルスクリューを入れ替え、ハンドルをボディ左側へ差し込み、反対側からハンドルスクリューで一杯に締め付けます。



■糸止め

糸がかけにくい場合は、糸止めを爪先で少しうかせて糸をかけてください。

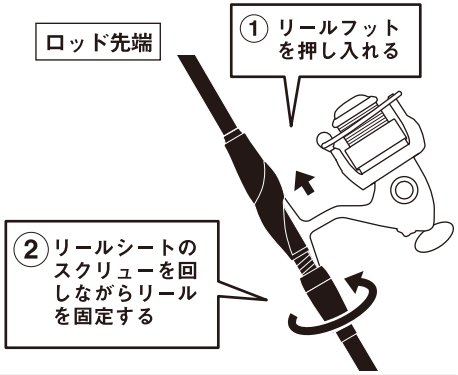


⚠ 注意

ハンドルが逆転しないような仕様になっております。ご使用の際は仕掛け（ルアー）の巻き込みにご注意ください。巻き込んだ場合はドラグを緩めてスプールから糸を引き出してください。

リール・ロッドの取り付け

① リールのスプールのある方をロッド先端部に向け、リールシート前部にリールフットをしっかり奥に止まるまで押し入れます。
② リールシート下部のスクリューをリールのガタがなくなるまで回して、リールとロッドを固定してください。

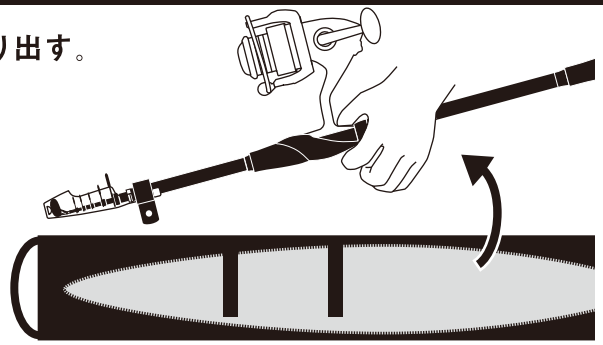


⚠ 注意・警告

リールを取り付ける際はガタがないようしっかりと固定してください。力がかかった時にリールが外れて落下し、傷付いたり故障、紛失の恐れがあります。

1. タックルを取り出す。

バッグを開けリール・ロッドを固定しているマジックテープを外して後方向から取り出してください。

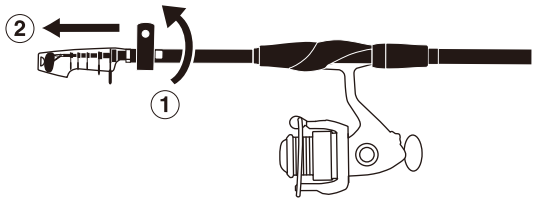


⚠ 注意 ロッドの竿先など強引に取り出すと破損の恐れがありますのでご注意ください。

2. トップカバーを外します。

① トップカバーのベルトを外してください。

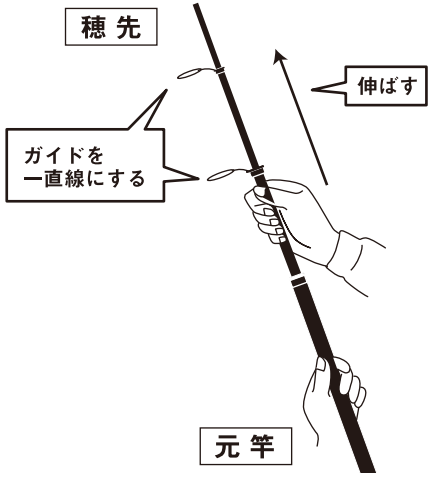
② ガイドの引っかかりに注意しながらトップカバーを外してください。



⚠ 注意 トップカバーを外す際に、無理にひねったりするとロッドの穂先を折る場合がありますのでご注意ください。

3. ロッドを伸ばします。

＃1節から順番に1本ずつ引き出し、少しひねりながら継目を固定します。この時に、継目が緩いと使用中に節落ちしたり、折れることがありますので、しっかりと固定してください。



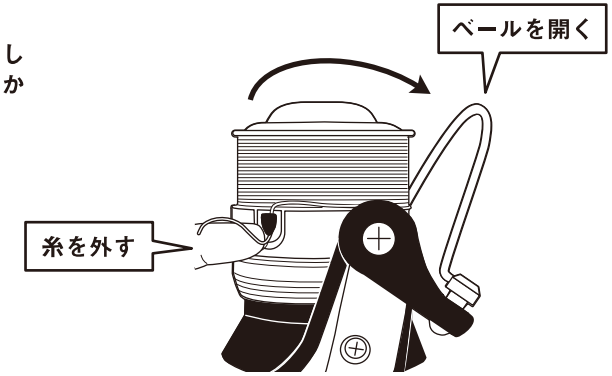
⚠ 注意

フリーガイドを固定する際は、前後のガイドが一直線になるように固定してください。また、フリーガイドの固定力が弱いと使用中にフリーガイドが外れ、ロッドの破損の原因となりますのでご注意ください。

釣りの始め方（タックルセッティング）

4.

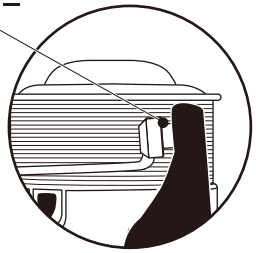
リールのハンドルをおこしベールを開けて、糸止めから糸を外してください。

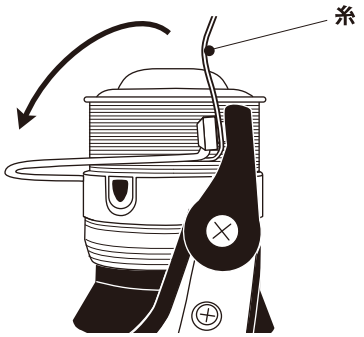


ベールが開いた状態

5.

ベールを閉じて、外した糸をラインローラーにかけます。

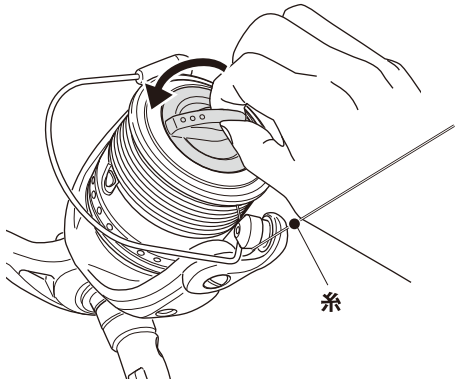




ベールが閉じた状態

6.

ドラグノブを糸が軽く出る程度に緩めます。



釣りの始め方（タックルセッティング）

7. ガイドとトップガイドに糸を通す。

リールから糸を引き出し、元ガイド（#4G）から順番に穂先へ向かって糸を通してください。

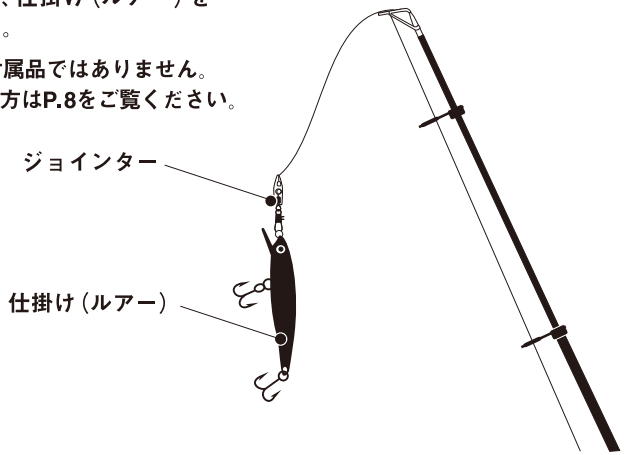
⚠ 注意

糸の通し忘れが原因でロッドの一部に力が集中し折れることがありますのでご注意ください。

8.

全ガイドに糸が通っているのを確認し、ジョインターを結び、仕掛け（ルアー）を取り付けてください。

※仕掛け（ルアー）は付属品ではありません。
※ジョインターの結び方はP.8をご覧ください。



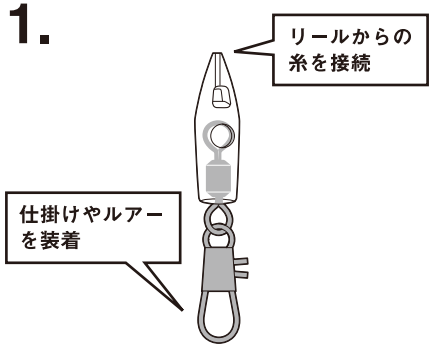
タックルのセッティングは完了です。

ジョインターの結び方

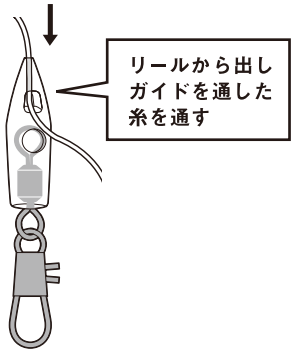
DV1には仕掛けやルアーの装着に便利なジョインターが3コ付属しています。

※ ジョインターは適合糸2号～6号で設定されています。
細すぎたり、太すぎたりすると機能を損なう場合がございます。

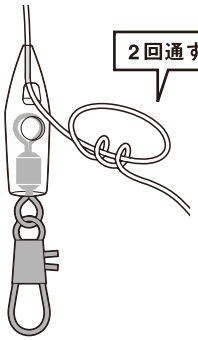
1.



2.

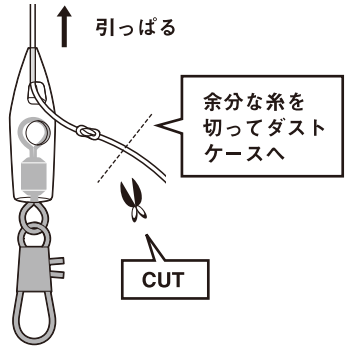


3.



必ず2回、通してください。1回だと切れやすくなり抜ける場合もあります。

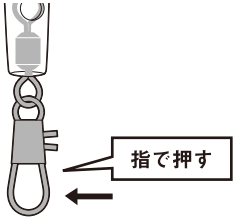
4.



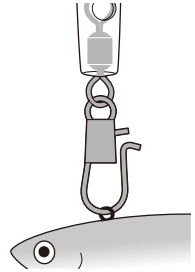
ルアーや仕掛けをつけて使用してください。

〈仕掛けの取り付け方法〉

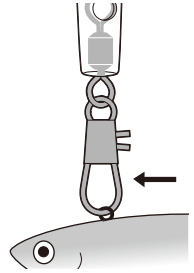
1. 指で押してください。



2. ルアーや仕掛けを引っかけてください。



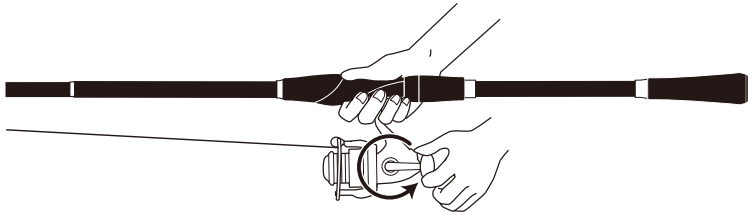
3. 必ずもとに戻して使用してください。



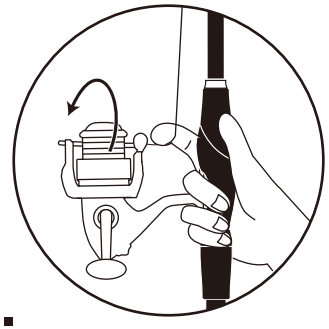
タックルの操作方法

■ロッドの握り方

下図のように中指または薬指の付け根にリールフット部を挟んでしっかりと握ります。リールを下向きにして巻いてください。

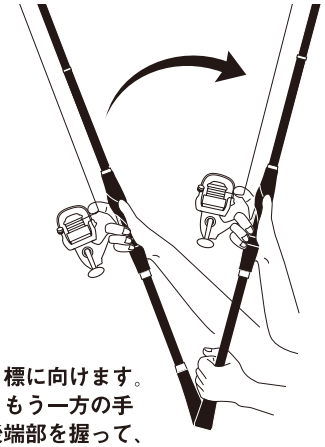


■キャスティングの方法（投げ方）



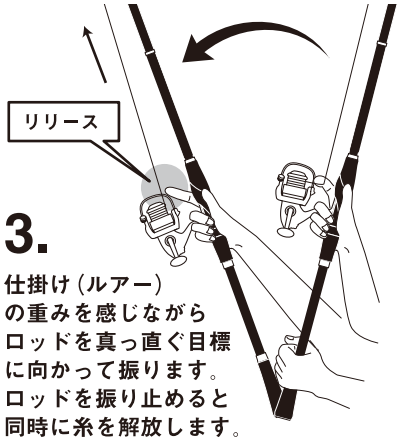
1.

利き手の人指し指に軽く糸をかけ、リールのドラグが締まっているのを確認し、リールのベールをあけてロッドを軽く握る。



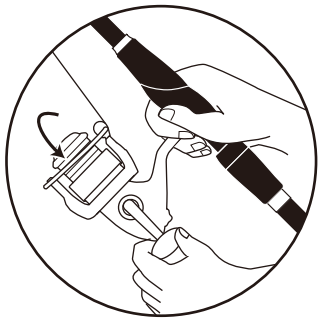
2.

ロッドを目標に向けます。脇をしめ、もう一方の手でロッド後端部を握って、後ろに倒してください。



3.

仕掛け（ルアー）の重みを感じながらロッドを真っ直ぐ目標に向かって振ります。ロッドを振り止めると同時に糸を解放します。



4.

仕掛け（ルアー）着水後、ベールを閉じてハンドルを回して糸を巻き取ります。

タックルの収納方法

1. ジョインターから仕掛け（ルアー）を外します。

2. ジョインター部の糸を切ってジョインターを外してください。

3. 余分な糸を巻き取り、リールの糸止めに止めてください。

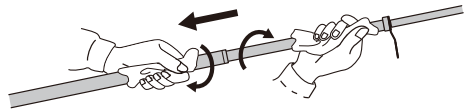
4. ロッドを仕舞います。

・ロッドを仕舞われる際は、太い節から順番に一節ずつ継目を緩めて収納してください。

・継目を緩める際には必ず、継部の上下近くを握り少し左右に回しながら収納してください。

■ロッドの固着の外し方

・固着した継目の両端近くにゴムシート等の滑り止めをロッドに当てて握り、お互いに逆方向にヒネリながら太い節に押し込んで継目を緩めてください。



・固着が緩まない場合は、無理をせず最寄りの販売店へお申し付けください。

※**固着**とは、ロッドの節と節がしっかりとくっついてしまい、継目を緩めて収納しにくくなった状態。

⚠ 注意

・ロッドの構造上、固着を完全に防止することはできません。
・強くロッドを握るとロッドが潰れて破損し、手にケガをする場合がございますのでご注意ください。
・継目を緩める際に一気に力を入れてロッドに手を挟まれないようにご注意ください。

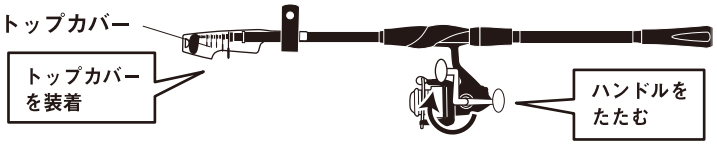
5. リールのハンドルを折りたたんでください。

※ハンドルのたたみ方はP.3のリールの操作方法のページをご覧ください。

バッグへの収納方法

下記のようにロッド、リールをバッグに収納してください。

リールのハンドルをたたみ、トップカバーを装着してください。

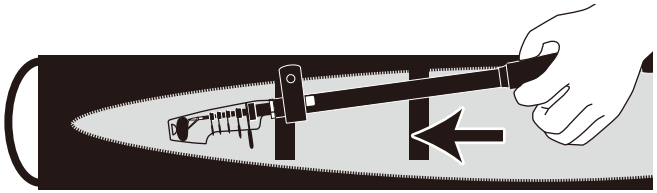


■トップカバーの装着方法

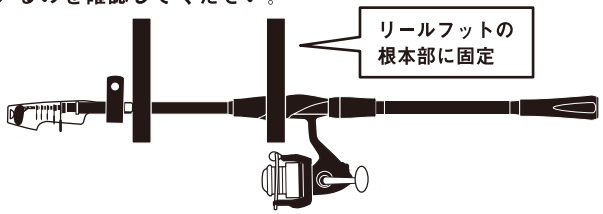
ロッドを折らないように気をつけながらロッド先端にカバーを被せ、ベルトで止めてください。

1.

バッグの取っ手のある方にトップカバーがくるようにタックルを収納してください。



2. バッグ底面のマジックテープでタックルを図のように止めてしっかりと固定されているのを確認してください。



⚠ 注意

ロッドを固定した状態でもバッグを落したり、折り曲げたり、過度な力を加えたりすると中のタックルが破損する恐れがありますのでご注意ください。

■ダストケースの使い方

DV1には仕掛けの切れ端や使用済みの釣り針などを安全に収納・廃却するためのダストケースがバッグのサイドポケットに入っています。環境を守るために出したゴミは各自が責任を持って持ち帰るのが釣りのマナーです。

⚠ 注意

- 釣り針等を捨てる際に指や服に刺さらないようにご注意ください。
- ダストケースは防水ではありません。濡れた物や液体を入れた場合には、バッグやタックルを汚す場合がございますのでご注意ください。

安全上のご注意

⚠ 危険（ロッドについて）

高圧線への接近による放電や感電、さらに落雷による感電は、最悪の場合、重大事故（感電死）を招く恐れがあります。

①電線との接触による感電

高圧線・線路・鉄橋等の電線による感電に注意してください。ロッドは素材特性上、電気をよく伝えます。特に電線等に接触または、ロッドを近づけただけでも感電して死亡事故の原因となります。釣り場を移動する時はロッドをたたみ高圧線・線路・鉄橋等の電線の下または近くでは絶対に使用しないでください。

②落雷による感電

落雷による感電に注意してください。使用中、雷が発生した時は、ただちにロッドから離れ安全な場所に避難してください。

③釣り場以外の電線による感電

釣り場以外でロッドを使用し、電線に触れる事故が発生しています。ロッドを使用する時は、周囲の安全に十分注意してください。

気象条件により、空気中に電気を帯びている場合がございます。 ビリビリと電気を感じるのはその為です。天候の変化等により危険を伴いますので、そうした場所での釣りはお避けください。

⚠ 危険（リールについて）

リールを回転させている時、回転部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。

⚠ 警告（全体について）

■キャスティング（投げる）時の警告

振り込み時は周囲に人がいないか、十分に安全を確認してください。釣り針が人にささったり、ルアー、オモリ等が人に当たると非常に危険です。

⚠ 注意（全体について）

■根掛かりの外し方

根掛かり（水中、陸上での障害物に仕掛け（ルアー）が絡み外れない状態）した時は、無理にロッドをあおらないでください。ロッドが折れたり、外れた仕掛けが飛んできてケガをする恐れがあります。根掛かりは、出来るだけ、糸を手にとって引っ張って糸を切ってください。その際、糸で手を切る場合がありますので、手袋やタオルで手を保護してください。

安全上のご注意

⚠ 注意（ロッドについて）

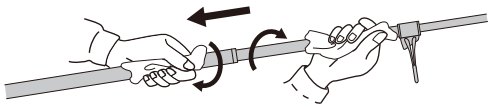
■破損時の取り扱い方

使用中、万が一ロッドが破損（折れ、割れ、欠け、剥離）した場合、破損した箇所や破片で手などケガをする恐れがありますので触れないでください。

- 幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故やケガに繋がる恐れがあります。
- ロッドを釣りの目的以外に使用しないでください。ロッドが折れ、ケガの原因になります。

⚠ 警告（ロッドについて）

■固着の外し方



ロッドの固着（継ぎ部が食い込んで外れない時）は継目の両側近くに、すべり止めを当てて握り、互いに逆方向へヒネリながら押して継目を緩めてください。その際、一気に力を入れるとロッドの継目に手を挟み、ケガをする恐れがあります。

⚠ 警告（リールについて）

- キャスティングする（投げる）際には、ドラグを締めた状態であることを確認してください。ドラグフリーの状態では糸で指を傷つける恐れがあります。
- 糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。
- キャスティング（投げる）時にベールを開けるのを忘れたり、ハンドルがベールのかえりやすい位置にならないようにしてください。オモリ（ルアー）が出ていかず、けがをする恐れがあります。
- ボディ、ローター内部には注油しないでください。ハンドルが逆回転し手に当たってけがをする恐れがあります。

使用上のご注意

⚠ 注意（リールについて）

- 落下などの強いショックがかかると、破損する場合がありますので、取り扱いはご注意ください。
- 使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより表示糸巻量、糸巻きの状態に差異が生じることがあります。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。

⚠ 注意（ロッドについて）

- 自重は素材・塗料・部品等により、ばらつきますので標準自重で表示しております。
- 全長は合わせの深さ等により、ばらつきますので標準全長で表示しております。標準自重・標準全長、その他の仕様も公正競争規約に基づく表示をしております。
- ロッドは一本一本手作業で仕上げられています。そのため商品により多少の色、質感のバラツキが生じる場合がありますのでご了承ください。
- ご使用になられた頻度、または外的要因により発生した不具合（塗装・メッキ、その他の加工処理面の自然退色、腐蝕、剥離、こすれ傷等）は保証期間内であっても有償となります。
- リールを装着した状態で、ロッド後端部に衝撃を与えないでください。リールの足折れ及び、リールシートの破損や糸止め部のクラックを招く恐れがございますのでご注意ください。
- 仕掛け（ルアー）を巻き上げる際に、巻き過ぎますとジョインターや仕掛け（ルアー）がトップガイドにつかえ、破損を招く恐れがございます。巻き上げの際は、トップガイドの先にゆとりを持たせて取り込んでください。
- ロッドの一部に過度な負荷を加えると破損の恐れがありますのでご注意ください。

使用上のご注意

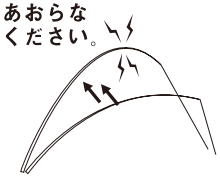
■糸ガラミしたままで、糸を巻き込まないでください。

■無理に糸を巻き込まないでください。

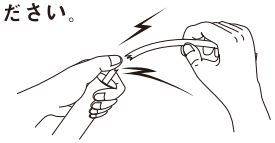
■シャクリ等でロッドを立てすぎないでください。

■垂直方向に、不用意に抜き上げないでください。穂先に集中負荷がかかり、折れやすい状態になります。

■勢いよくロッドをあおらないでください。

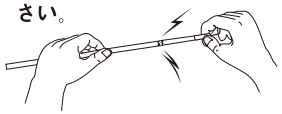


■指で押さえて曲げないでください。



■玉口に当てて折り曲げないでください。

■1番節を持ってトップガイドを回さないでください。



■トップカバーを外す際、ガイドがトップカバーに食い込んでいる場合がありロッドを折ることがありますので、必ず確認してください。

■ロッドの曲がりについて

現在のロッド生産技術上、グラス、カーボンなどの素材の違いを問わず、各部分に発生する若干の曲がりを100%排除することは不可能な状態です。また特に柔軟さを追求したタイプのロッドでは、強く曲げられた場合などに曲がり癖が残ることがあります。強度機能上は問題ありませんので若干の曲がりはご了承ください。

- ご使用中の破損事故を防ぐために、ご使用にならない時も安全な状態で保管してください。
- ご使用中にオモリ等がロッドに当たると、破損の原因となる傷がつきますのでご注意ください。
- 強風時にロッドをあおったり強く振り込んだりすると、ロッドの限界強度を超え破損しますのでご注意ください。
- 固い地面（河原や防波堤、岩場など）に直接ロッドを置くと破損の原因となる傷がつきますのでご注意ください。
- 当て傷のついたロッドは折れやすくなっていますので注意してください。特に、塗装面を通り越した傷がある場合は、強度低下を起こしていますのでご注意ください。

タックルのお手入れ

⚠ 注意（ロッドについて）

- タワシ、みがき粉、ベンジン及びシンナーの使用は絶対に避けてください。ロッドの塗装面及び時にはロッドまで傷める原因となります。

※ロッドの汚れは、真水で洗った後に、乾いた布で拭き取ってください。

※市販のロッドクリーナーやワックス等は、ご使用にならないでください。塗装面を傷めたり、色落ちする恐れがあります。また、固着の原因となりますので、ワックスや潤滑油を節の合わせ部に塗布しないように注意してください。

- ご使用後、ロッドを濡れたままの状態で保管しないでください。次回のご使用時に固着を引き起こすことがあります。ロッドが濡れた場合は必ず、陰干ししてから保管してください。
- 乾燥のため等で節を立てかける際は絶対に倒れない様にしてください。折れの原因となるクラック（ヒビ）や破損の恐れがあります。
- ご使用後は安全な状態でロッドを保管してください。倒れたり、他のものとぶつかったりすると、破損することがあります。
- 車のトランク等に長期間放置しないでください。高温、密閉状態での長期間放置はロッドの大敵です。

ブリスター（水ぶくれ）の防止

汚れたままのロッドを密閉状態にすると、ロッド内の水分により塗装面に水ぶくれ状のブツブツが発生します。これを防止するには、水分を十分拭き取り、風通しの良い場所に陰干しして水分を完全にとってください。

腐蝕錆の防止

汚れたままの状態にするとメッキ面、その他の加工処理面の自然退色及び金属部分の腐蝕により、下栓等に不具合が発生することがあります。これを防止するには塩分、水分、ゴミ等を完全に拭き取ってください。

■表示の「適合糸」「錘負荷」は、ロッドをお選びいただく際の慣例上の目安であり、強度を表したものではありません。

■ロッドのしなりに、糸巻きの厚塗り部の伸びがついていけず、糸目に沿ってヒビが入る場合がございますが、基本機能（ガイドやシートの固定力）に問題はございません。現在の技術では糸巻き厚塗り部のヒビ割れを完全に防止することはできません。

⚠ 注意（リールについて）

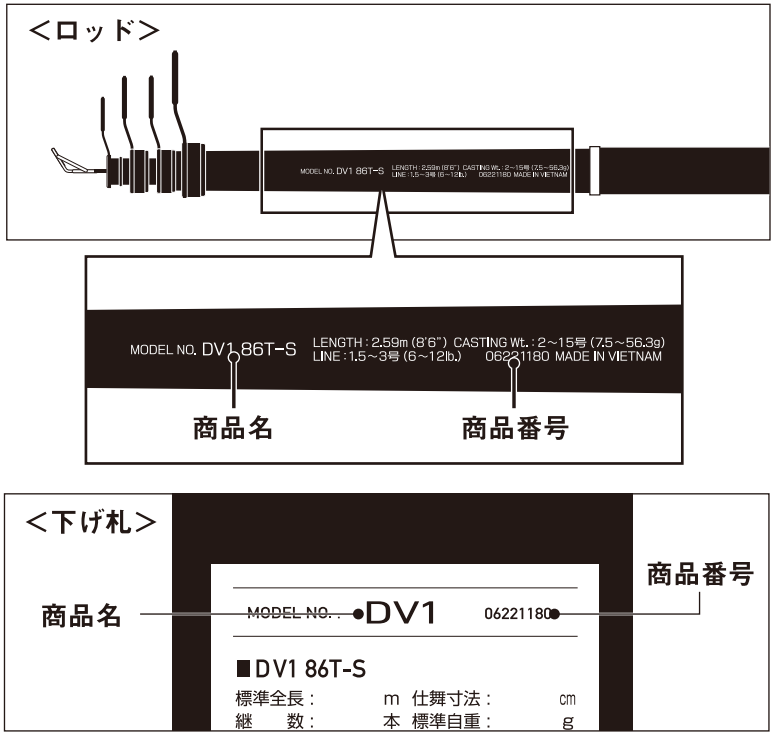
- ご使用後には必ず外部の汚れや塩分を、真水もしくは温湯をひたした柔らかい布で拭き取り、リールシートから取り出した状態で風通しのよい所で乾燥させてください。
- 濡れた状態で保管しないようにご注意ください。例えば濡れたリール袋やロッドケース等に入れたまま保管する等はおやめください。
- 市販の防錆潤滑剤のご使用は、ボールベアリングやギヤーの耐久性を損なう恐れがあります。注油の際にはダイワリールガードグリス・リールガードオイル等、純正品をご使用ください。
- リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、性能を損なう可能性がありますのでおやめください。
- リールを末永く快適にご使用になるためにも、年に一度程度はお買い求めの販売店へオーバーホールに出されることをお勧めいたします。（有料）

アフターサービスについて

当製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品ご注文の際はお買い求めの販売店、またはお客様センターまでお問い合わせください。
なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますので御了承ください。

■修理に関するお願い

パーツを注文される際には、必ず商品名と商品番号をお知らせください。
弊社では修理部品は商品番号によって分類しています。穂先交換などご自分で修理される場合には、商品コード番号をお知らせください。商品コード番号はロッド本体や下げ札に記載されています。商品コード番号を控えて、修理の際には必ずご提示ください。



■改造後の責任は負いかねます

改造後の故障については、保証期間中であっても負いかねる場合がありますのでご注意ください。

■補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用出来ます
TEL 0120-506-204

お問い合わせ受付時間
AM9:00～PM5:00（土・日・祝祭日は除く）

電話番号につきましては、誠に勝手ながら予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

グローブライド株式会社